

## 平成 29 年度共同利用研究・研究成果報告書

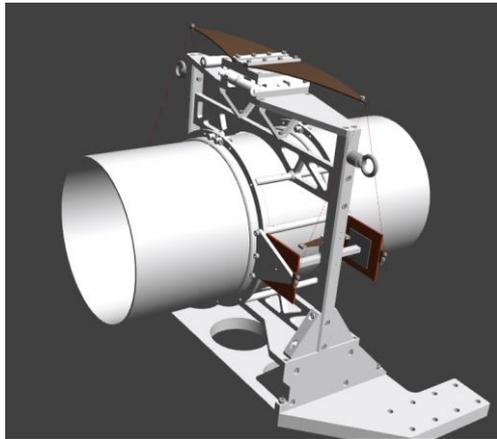
研究課題名 和文：重力波望遠鏡における電磁波散乱・伝搬シミュレーション V  
英文：Numerical Simulation of Electro-Magnetic Wave Propagation in Gravitational wave Detector V

研究代表者 三代木伸二

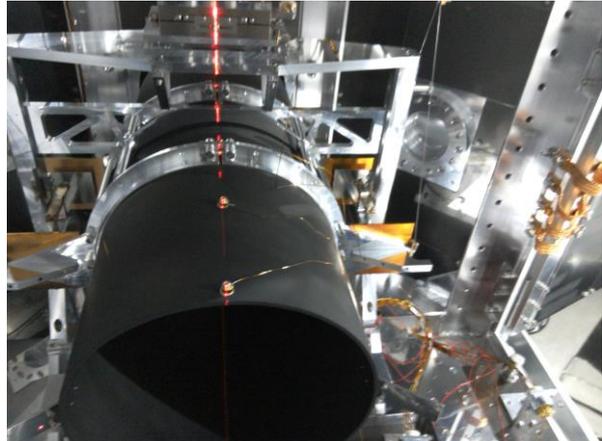
参加研究者 大橋正健(東京大学), 内山隆(東京大学), 長谷川邦彦(東京大学), 両角達彦(東京大学), 荒井滉矢(東京大学), 阿久津智忠(国立天文台), 鈴木敏一(東京大学), 都丸隆行(高エネルギー加速器研究機構)

### 研究成果概要

サファイア鏡の直前に設置される、サファイア鏡から広角散乱光を低減するための、振り子と板バネで防振されたWide Angle Baffle(WAB)が国立天文台において設計かつ試作された。そのうち一つは、実際にKAGRAのクライオスタットの中にインストールされた(阿久津氏)。

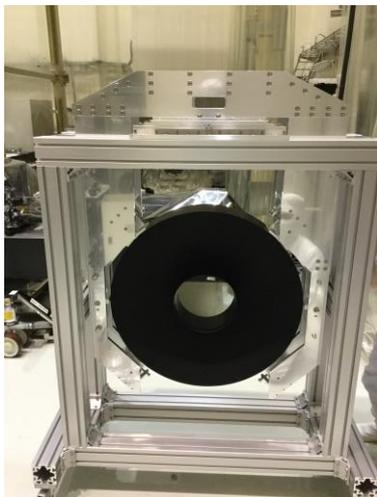


設計段階のWAB



KAGRAにインストールされたWAB

一方、Narrow Angle Baffle (NAB) も、その保持機構とともに製作中である。



整理番号 F08